

三代目萬代橋 ②

■強い萬代橋



新潟地震後の萬代橋東詰の様子（当館所蔵）
避難する人々が見える

昭和39（1964）年6月16日、新潟市内をマグニチュード7.5の地震が襲いました。建物の沈下や傾斜などに加え、完成したばかりの昭和大橋は橋桁が落下し、通行不能となりました。その一方で萬代橋は、両橋詰に損壊を受けましたが、アーチ部分はほとんど被害がなく、応急復旧することで車両の通行が可能となりました。

地震の翌日から復旧救援の連絡路となり、その強さが改めて証明されました。

■重要文化財への指定 ～新潟市のシンボル～

萬代橋の特徴的なアーチ部分は、建設当時鉄筋コンクリートの構造物としては日本最大で、大規模な建造物建設における当時の技術的達成度を示す貴重な遺構とされています。また、橋梁デザイン史上においても価値が高く、これらの理由から平成16（2004）年、三代目萬代橋は重要文化財に指定されました。

三代目萬代橋は、架橋から90年以上経った現在も市内の交通を支え、新潟市のシンボルとして広く市民に親しまれています。



平成25年の萬代橋 計5つもの一般国道が走り、市内の交通を支えている